

第160期取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社は、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、コーポレートガバナンスを重要な課題と認識し、その一環として取締役会の実効性評価を実施しております。

つきましては、第160期（2023年4月～2024年3月）の取締役会の実効性評価の結果がまとまりましたので、その概要を報告いたします。

記

I.実施内容

- 1.評価対象：2023年4月～2024年3月までに開催された取締役会
- 2.評価者：評価期間に在任の取締役のうち2024年3月末時点で在任の者（計9名）
- 3.実施期間：2024年4月～5月
- 4.概要：「100_取締役会の構成に関する事項」「200_取締役会の運営に関する事項」「300_取締役会の議題に関する事項」「400_取締役会を支える体制に関する事項」「500_一般的な評価に関する事項」に関するアンケート（23問）を実施し、当該アンケート結果の概要について取締役会での議論を実施。

II.総合的な評価結果および今後の取り組み

1.総合的な評価結果

- ・アンケート結果を踏まえて議論した結果、当社は、取締役会が適切に運営されており、経営の監督機能を中心にその実効性を相応に確保していると評価しております。

2.取り組むべき課題

- ・「当社グループの在り方」
- ・「グループガバナンスの強化」

3.今後の取り組み

- ・継続的に多角的な視点から中長期的な経営計画・経営戦略、資本政策に対する議論の深化に努めるとともにグループガバナンス強化の観点から各種会議体の在り方の見直し・整理を図って参ります。

以上